

原子工学職の業務を紹介します!!

原子工学職とは

北海道では、北海道電力(株)泊発電所周辺地域の環境放射線モニタリング、泊発電所の安全対策の確認などの業務に、原子工学職の職員が活躍しています。

原子工学職の主な配置先

北海道総務部原子力安全対策課（札幌市）、北海道原子力環境センター（共和町） など

※採用後、人事異動により環境生活部など他の部局にも勤務

原子工学職が担当する主な業務

<原子力環境センターでの業務>



北海道原子力環境センター

- ・ 泊発電所周辺地域の空間放射線等の監視
- ・ 環境試料（農畜産物、海産物、土、水など）の放射能分析
- ・ 事業者への立入調査、事業者の測定の立ち会い
- ・ 緊急時モニタリング訓練 など

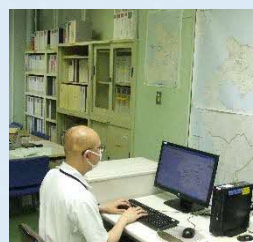
空間放射線の監視



固定局測定機器の点検等



車載機器による測定



監視データ集計



泊発電所からの報告聴取

環境試料の放射能分析



①前処理(燃烧しやすく粉砕し計量)



②灰化処理(試料の濃縮)



③薬品を加え化学処理



④測定機器による分析

《先輩 からのアドバイス①》

環境放射線モニタリングの経験がなくても大丈夫！他府県の環境監視センター職員と一緒に専門研修を受講したり、諸会議に参加し情報収集や意見交換を通じスキルを磨いていきます。

《先輩 からのアドバイス②》

原子力環境センターから職員公宅までは徒歩で3分程度、さらに進むと農業研究用の畑が広がり、メロン・すいか・とうもろこし等の日々の生育が間近で楽しめます。

仕事終わり、休日の過ごし方は様々。ニセコ方面までは車で1時間弱。スノーボード、登山、マウンテンバイク、釣り、ラフティング、温泉巡り……。もちろん公宅で映画鑑賞やネットゲームのインドア派も。



北海道原子力防災センター

【北海道原子力防災訓練】

泊発電所での事故発生等を想定し、北海道原子力防災センター（OFC）に参集し訓練を行います。北海道原子力環境センター職員は、緊急時モニタリングを担当し、機器の操作や動作確認等を行います。



知事・市町村長らとTV会議



測定の場所や内容を検討



代替測定機器の設置



屋外活動後の被ばく検査

<原子力安全対策課での業務>

- ・原子力安全対策に係る企画、予算、広報
- ・北海道地域防災計画（原子力防災計画）、原子力防災訓練、通信連絡訓練
- ・泊発電所の安全対策の確認（監視協議会の開催、事業者からの各種報告） など



北海道庁



監視協議会(安全対策確認)



原子力防災訓練(知事参加)



通信連絡訓練

《先輩からのアドバイス③》

北海道原子力環境センターが設立された昭和61年当時、「環境部局」であったことから、現在も衛生工学、環境科学などの環境系の職員が配置されています。一方、原子工学も環境分野の業務を担当することで知見や考え方の幅を広げ、また、多くの職員と携わることで「職員の輪」を形成していきます。

《先輩からのアドバイス④》

原子工学の選考試験の出題分野は、「物理学（素粒子、原子核、放射線とこれに関連する分野）、放射線物理学、原子力工学、放射線計測学、放射線管理学、放射化学、放射線影響科学」と幅が広すぎますが、放射線取扱主任者試験の問題集等を利用し、広く浅く勉強し準備する方法も！（入庁後に資格試験を受験するので必要な知識です）

その他

- 原子工学の選考試験は、職員の退職や人事配置等、必要の都度、実施します。（毎年選考試験を行うものではありません。選考試験実施の都度、ホームページ等でご案内します。）
- 原子力安全対策の仕事に興味や関心をお持ちの方、職場見学を希望される方は、原子力安全対策課又は原子力環境センターにお問い合わせ願います。

問い合わせ先

- 北海道総務部危機対策局原子力安全対策課 電話：011-204-5011
- 北海道原子力環境センター 電話：0135-74-3131